

ようひょうそで松浦へ！

— 第19回マツカイ市青少年使節団 —

9月25日から10月2日までの8日間、オーストラリアのマツカイ市から「マツカイ市青少年使節団」（団員6人、引率2人）が本市を訪れました。滞在期間中は、市民宅にホームステイをしながら、学校訪問等を通して市民との交流を深めました。

青少年使節団の 主なスケジュール

9月25日

夕方、松浦市役所に到着。ホストファミリーと対面しました。

9月26日

ほしか保育園訪問では、園児たちとかけっこや玉入れ等運動会ごっこを楽しみました。松浦高校では、1年生の皆さんとドッジボール等を通して交流を深めました。

9月27日

午前中は電源開発(株)松浦火力発電所を訪問、姉妹都市提携のきっかけとなった発電所の施設を見学しました。午後は今福神社を訪問し、巫女の装束を着せてもらって記念撮影をしました。

9月28日

長崎市の原爆資料館や平和公園を訪れ、平和の尊さについて学びました。午後は有田で絵付けを体験し、日本の思い出を皿に描きました。

夕方は、交流会でホストファミリーや、昨年と今年に松浦市青少年親善使節団に参加した生徒の皆さんとダンスをして楽しいひと時を過ごしました。

9月29日・30日

ホストファミリーと自由行動、各団員はホストファミリーと特別な思い出を作りました。

10月1日

上志佐小学校、志佐小学校、志佐中学校を訪問し、児童、生徒の皆さんと交流を深めました。

10月2日

団員は、ホストファミリーとの別れを惜しみながら、松浦を後にしました。



①



③



②



⑥



④



⑦



⑤

- ①市役所到着
- ②ほしか保育園でのミニ運動会
- ③松浦高校では1年生と交流
- ④松浦火力発電所を見学
- ⑤今福神社で巫女装束を着て記念撮影
- ⑥不老山総合運動公園にて記念撮影



⑩



⑧

- ⑦志佐小学校では6年生と交流
- ⑧上志佐小学校では書道を体験
- ⑨志佐中学校では生徒たちと一緒に長縄跳びに挑戦
- ⑩交流会ではみんなと楽しくダンス
- ⑪ホストファミリーとのお別れ



⑪



⑨

青少年交流事業

マツカイ市との交流は、松浦市国際親善協会を中心に市民主体となつて推進されており、松浦市青少年親善使節団や市民親善訪問団の派遣、また、マツカイ市青少年使節団や親善訪問団の受け入れなど、互いの市へ頻繁に訪問することで、積極的な情報交換や文化交流が図られています。

松浦市青少年親善使節団の派遣とマツカイ市青少年使節団の受け入れは毎年相互に行っています。

使節団はそれぞれの市で、ホームステイ、学校・施設見学、文化体験、スポーツなど、さまざまな体験を通して市民との交流を行います。

マツカイ市の使節団は、15歳から17歳の男女を市の代表として松浦市へ派遣しています。

松浦市の使節団は、松浦市在住の中学2年生から高校3年生を対象に公募し、マツカイ市へ派遣しています。

この事業は、姉妹都市交流の主要な事業となっています。

